

労働法制の改悪反対 一日8時間労働制の破壊を許さない

第86回中央メーデーは、4月29日に行われ、東京地公労集会を千駄ヶ谷区民会館で開き、代々木公園までデモ行進し、メーデー式典に74人が参加しました。5月1日の日比谷メーデーには、585人が参加し、労働法制の改悪反対！一日8時間労働制の破壊を許さない！ 集団的自衛権の行使反対！ 戦争国家体制を許すな！と訴えながら、東京駅まで整然とデモ行進をしました。



第86回日比谷メーデー
労働法制の改悪反対！一日8時間労働制の破壊を許さない！
戦争国家体制を許すな！
集団的自衛権の行使反対！
戦争国家体制を許すな！



東京労働組合
千代田区飯田橋3-9-3
TEL (3237) 9995
1部20円
編集 野崎 教宣
責任 野崎 優三
長 野崎 優三

わが組合の綱領

- 一、われわれは健全なる自主的組織を確立し、生活諸条件を確保し、社会的地位の向上を期す。
- 二、われわれは労働の社会的意義を顕揚し、都区政の徹底的民主化を期す。
- 三、われわれは労働者階級の解放と民主主義日本を建設し、世界平和に貢献せんことを期す。

●「2015年度夏季一時金等に関する要求書」区長会に提出(回答は6月12日)

民間の2015春闘情勢、賃上げの流れが継続 夏季一時金支給月数 昨年実績以上求める

5月21日平成27年度夏季手当(第1回)団体交渉を行い、「2015年度夏季一時金等に関する要求書」を区長会に提出しました。回答は6月12日までに示すよう区長会に求めました。

2015春闘は、5月11日時点の回答集計結果を見ると、額にして6、710

円、率にして2.28%昨年を上回り、一時金は年間4.89月の水準であり、賃上げの流れが継続しています。民間の春闘情勢をふまえ、「年間を通じて5ヶ月以上」とすることを区長会に要求しました。合わせて清掃職場で劣悪な労働条件で働く非正規労働者や委託

労働者に対し、夏季手当の支給・改善を働きかけることは、区長会の責務です。給料表への切替が実現してから既に6年目です。2014年の賃金確定交渉で、制度矛盾とも言える追い越し事例を解消するため一定の見直しを図られました。しかし勤務成績が良好

でも、給料月額の上上げがあっても、今も調整係数を保有しているため、直接処遇に反映されずに、切替調整制度に苦しめられている組合員が今もいるのです。区長会は切替調整措置の終了と残号数の廃止を即時決断すべきです。

●2016年度予算・人員要求闘争「正規職員採用の申し入れ」5月中に回答を求める

清掃事業の継続的で責任ある運営を求め 新規採用獲得へ全力で闘う

2016年度予算・人員要求闘争は、新規採用の獲得をめざし取り組みます。清掃職員による23区を貫く単一の労働組合として、各支部の作業計画・人員要求の闘いを支部・地連・本部が一体で闘います。「正規職員採用の申し入れ」は全区一斉に行い、5月中に回答を求め、全力で取り組みます。

清掃事業の移管以降、車付雇上の拡大や委託が進行し、正規職員が減少し「職員が把握できる現場」が減っています。日々の業務だけでなく、区内地域の様々な状況の把握という行政の

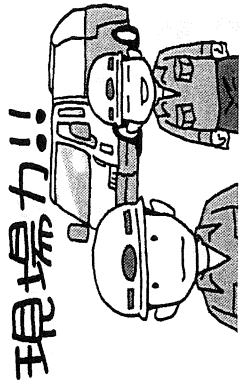
責任が果せなくなっているのです。しかし区内の地域状況の把握は災害時の区民の早期救出や安否確認に大いに役立ちます。「高齢者等訪問収集」の実施により災害弱者についても把握しています。これらの知識や情報は「重要な個人情報」であり、自治体職員・清掃職員が把握し、万が一の場合に活用することが求められます。

保育園・学校で「3Rやごみや資源の分別」を学ぶ環境学習を進め、不適正排出・不法投棄排出者に対して公権力を行使し、調査・指導を行います。これらの

啓発・指導業務は収集運搬現場で経験した知識と技能がなければできません。非正規労働者への切替えが進み、現場を熟知した正規職員が減り続ければ良質な公共サービスの提供はおろか、安全で安定した清掃事業・清掃工場運営に大きな支障を及ぼします。現場を熟知し、区民に対して的確に対応することは1年や2年の経験ではできません。時間をかけ様々な経験をし、先輩から技術を継承し、一人前の職員となるのです。

2016年度予算編成に向けた所要人員に係わる申

し入れは、区民生活のライフラインでもある清掃事業を継続的かつ責任を持って運営することを求め、そのための必要人員を新規採用で補充させる運動として進めます。



行政も、事業者も、我々も、力を合わせ 良質な公共サービスとしての清掃事業を作り上げよう

第40回組織/第52回自治研集会へ 2015年6月14日(日)～15日(月) 箱根路 開雲



環境学習の後、保育園から届きました

なぜ公務員が直接現場を担う必要があるのか。地域

第84回臨時大会(2月19日)で『組織財政方針』に伴う新たな本部体制の見直しについて」が確認された。区移管以降も単一労働組合という組織形態を維持している意味を全組合員が改めて認識し、次代を担う活動家の育成に力を傾注しながら今後の運動を展望する。

清掃事業の区移管から15年。都区制度改革としての区移管の評価がある一方で、良質な公共サービスとしての清掃事業のあり方、という視点が行政側にも区民の側にも欠落している感がある。23区の清掃事業に従事する労働者で組織する労働組合として、そのことを内外に問う社会的な責任がある。

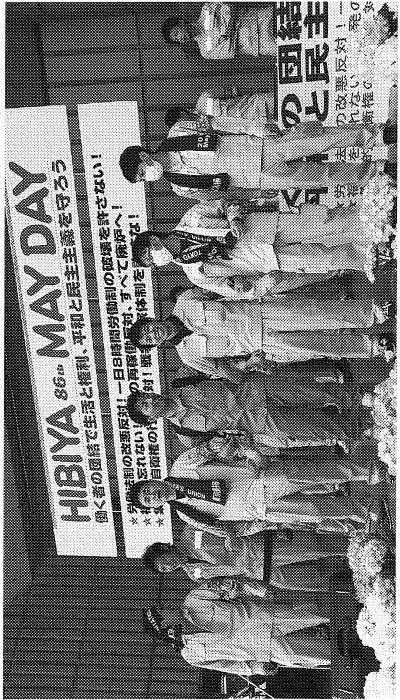
第40回組織集会是統一自治体選挙後の組織集会成为。各区議会との連携強化を図るためにも各区の推薦議員にも参加いただき、良質な公務・公共サービスとしての清掃事業のあり方を共に考える第52回自治研集会を兼ねた組織集会成为する。

ある区民にとって、公務員が清掃事業を担うことが本来に有益であり必要なことなのか。この問いに対する答えなくしては、現在の地域公共サービスの安易な民間委託(非正規労働者の多用)の流れを止めることは出来ない。

区民との共同行動による自治研活動を活性化し、清掃事業の安定的な運営、質の向上につなげる必要がある。私たちは、集積所の調査や住民・事業者指導という公権力を伴う業務や、高齢者・身体の不自由な方を対象とした訪問収集、子ども達に分別ゲームなどを通して環境問題としての清掃事業を啓発する環境学習など様々な取組を展開してきた。各区の取組の現状を全体で共有化し、今後の取組

職場環境や賃金実態などの諸課題に 組合員が自ら主体的に取り組もう 新入組合員歓迎学習交流会

4月28日(火)SKアウザ地下ホールで新入組合員歓迎学習交流会が開かれ、新規採用の仲間を迎えた青年部21人(新入組合員16人)が参加



「労働組合は組織、組合員は組織人だ。みんなで決めたことはみんなで守ろう」と訴える

吉田中央執行委員長は「労働組合の役割と存在意義について」講演しました。始めに「今ある労働条件は先輩達が交渉し、勝ち取ってきたものだ。新規採用が行われ、今皆さんがここにいることは、正に労働組合が存在しているからだ」と話されました。労働者が団結する意義では「労働者は一人では弱い、互いに支えあうことで組織として当局と対等の立場で交渉出来る」「一人ひとり環境や考え方に違いがあっても、共通

することを全体で共有することが必要だ」と話され、組合費は「保険料ではない」とし、労働条件や職場環境、賃金実態などのあらゆる諸課題に対し、自ら主体的に取り組む姿勢が重要であると述べました。最後に「労働組合は組織、組合員は組織人だ。みんなで決めたことはみんなで守ろう」と訴えました。

全労災自治労共済本部支部の名児耶事務局長は「自治労と共済活動」として労働組合の原点は「自主福祉活動だ」という話から始め、共済制度のラインナップを説明し、将来設計に向けアドバイスしました。

青年部の組織強化及び課題の共有化を図る取り組みを紹介

石川青年部長は、青年部組織の成

清掃現場の業務内容記録DVDは完成間近 当局にも、区民にも、ぜひ観て欲しい すべての区で自治研集会を

①DVD制作の目的

収集・運搬・処理・処分という一貫した流れで成立する清掃事業は、広域的な処理を必要とする広域行政である。しかし、都区制度



戸別収集で、分別進みごみ減量

改革という政治的な潮流に巻き込まれる形で、収集・運搬部門は特別区へ、中間処理は東京23区清掃一部事務組合へ、最終処分場は東京都という分割区移管となった。

DVDはごみ処理の一貫した流れを追いながら、良質な清掃事業を維持するために各職場で奮闘する職員の苦労や現場の特徴点を紹介、良質な公共サービス

②DVDに収録する現場
I 収集現場
・分別がしっかりとごみの量が減った【戸別収集】
・高層の集合住宅にお住まいの高齢者に【訪問収集／安全確認】

素材としても活用する。

DVD制作にあたっては『ビデオプレス』に製作依頼収録が進められている。

資源循環型清掃事業・ごみ減量を支えている良質な公共サービスの実情を知ってもらうことをテーマにした、25分ほどの作品の完成は間近だ。

・遊びながら分別ルールを覚える【環境学習】

II 運搬現場

・普通の清掃車が入れないところまで【狭路路地対応】

III 中間処理現場

(清掃工場)

・危険物や布団などの粗大ごみが多い【不適正搬入の実態】

IV 最終処分場

・1300万人が住む東京1年で東京ドーム約8杯分のごみ量がでる。ごみ減量と資源化の努力の結果【様変わりした最終処分場】